

◎ ウィンターセミナー 12月17日(日) 於:静岡労政会館

コミュニティ・オーガナイズング(CO)入門

静岡ワークショップの開催

(組織活動家育成トレーニング)

天池洋介氏(岐阜青年ユニオン委員長)

●問題意識

- ・最低賃金運動にCOを活かすことはできないか
- ・停滞気味の労働運動を活性化することはできないか
- ・青年と労働運動、学習運動の関わりを形成できないか

●ねらい、目的

- ・労働組合活動家がCOについて知る機会にする
- ・従来型の上から決められた活動を再考し、自らが持っている社会運動資源から主体的に活動を構想・デザインする
- ・新入組合員のような入門層、経験者のような中堅層が担えるような活動メニューをそれぞれ用意し、配置することで、役員に頼らない全員参加型の組織を考える
- ・声を掛け、組織化を行うノウハウを学び、実際にオルグの練習をする
- ・静岡における実行可能なアクションを考察し、小規模なアクションプランを持ち帰る

●COとは大雑把に言うと…

- ・コミュニティ=信頼のある人間関係づくり
- ・信頼関係がないと人は動かない!
- ・信頼関係づくり⇔組織づくり

●信頼関係の作り方

- ・人と人をつなぐのは共感という感情
- ・組織と組織をつなぐのも人と人との信頼関係
- ・アメリカの組合オルグ方法(信頼→組織化)
 - 1) オルグを1~数人養成する
 - 2) 職場であいさつする

3) 職場で悩みごとを話し合えるようにする

4) みんなで上司にかけあう

5) 最後に組合結成手続きをする

- ・共感を築くために大切なこと
 - 聴くこと(口は1つ、耳は2つ)
 - ヒーローにならないこと
 - 情報を与えるのではなく、一緒にどうしたらいいかを考える
- ・「私」と「私たち」の思いを重ね合わせる語り

●社会運動デザイン

- ①現在の活動を細かい作業も含めて書き出す
- ②それぞれの活動の難易度を評価する。
 1. 新人でもできること
 2. 経験者ならできること
 3. 役員ならできること
- ③活動を難易度別に配置しなおす
- ④難易度別に活動に最適な人を配置する

●1対1ミーティング

- ①人を動かす理論
 1. 興味
 2. 共通性
 3. 提起
 4. 予定を入れる + 役割
- ②練習

上記の内容に基づき、実際に相手を学習会や組合の活動に誘ってみる

●今後のアクション

誰にどう働きかけるか・・・自分が働きかけたかと思っている人を想定して検討してみる

*連絡先: 静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 セキスイハイムビルディング 7F (静岡県評内)

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>